



学校キャラクター「たちばにゃん」



「輝け！橋っ子」通信

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力を持ち、たくましく夢を追求する児童の育成」
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

あっという間に2月も半ばを迎え、寒さの中にも春の気配が感じられるようになってきました。さて、全国的にインフルエンザの流行が広がる中、本校におきましても感染が拡大し始めたため、やむを得ず12日(木)・13日(金)の2日間、3学年を対象に学年閉鎖の措置を取らせていただきました。児童の健康と安全を最優先に考えた対応ですが、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。3月には卒業式、修了式といった大切な行事が控えています。学校はこれまで以上に、手洗いの励行、教室の換気、健康観察の徹底を図ってまいります。ご家庭におかれましても、十分な睡眠、規則正しい生活、栄養バランスのとれた食事、手洗いの徹底など、感染予防へのご配慮を引き続きお願いいたします。

事前復興学習発表会に参加しました！

2月9日(月)、5・6年生の児童が牟岐町の旧牟岐小学校体育施設で開催された「防災・事前復興学習合同発表会」に参加しました。この発表会は、愛媛大学の多田豊准教授を中心に進められてきた、徳島南部圏域の小学校を対象とした事前復興学習の成果を発表する場として企画されたものです。

当日は、橋小学校のほか、由岐小学校、牟岐小学校、海南小学校、宍喰小学校の児童が、それぞれの学習成果を発表しました。橋小学校からは6年生が代表として登壇し、5校のトップバッターとして堂々とプレゼンテーションを行いました。発表では、橋町の地形的特徴や想定される地震・津波被害、そして「橋町の宝物」として守りたいものと、それらを守るための具体的な方法について紹介しました。国道のかさ上げや高速道路の延伸、新たな防災公園の設置とトンネル掘削、橋湾へのフラップゲート設置など、大人では思いつかないような斬新なアイデアを提案し、大学の先生からも高い評価をいただきました。5校の発表後には、各校のブースに分かれてポスターセッションが行われました。橋小学校のブースにも多くの児童が訪れ、事前復興プランの良い点についてたくさんの意見や感想を寄せてくれました。橋小の児童たちも他校のブースを訪れ、地域ごとの地形や被害想定、復興アイデアについて活発に意見交換を行いました。

多くの人と学び合う貴重な機会となり、子どもたちにとって大変有意義な経験となりました。このような貴重な学びの場を提供して下さった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



トップバッターとしてプレゼン発表



橋町の宝物を守るプランを発表



他校の友達から意見や感想をもらう



ポスターセッション中の会場の様子

椿泊小学校との交流学習会を実施しました！

2月10日(火)、椿泊小学校の子どもたちが交流学習のために橋小学校を訪れてくれました。2年生2人、4年生2人、6年生6人の、あわせて10人です。2年生の2人は、橋小学校の1・2年生と一緒に、フルーツバスケットや伝言ゲームで、4年生はジェスチャーゲームや人狼系ゲームで盛り上がり、6年生は新聞タワーゲームやパネルクイズに挑戦して、笑顔いっぱいの交流となりました。給食も一緒に食べ、昼休みには橋小学校の広い運動場でサッカーや氷鬼をして、元気いっぱいに遊びました。6年生は、来年度から阿南第二中学校でまた一緒に学ぶことになります。今回の交流を通して、お互いを知る良い機会となりました。帰りには、橋小学校の子どもたちが桜坂の下まで走って見送りに行き、別れを惜しまました。また一緒に活動できる日を、心から楽しみにしています。



1・2年生。ポイポイゲーム



4年生。人狼系ゲームを楽しむ



6年生。新聞タワー作り



1・2年生。仲良く給食タイム



4年生。会話を楽しみながら給食



6年生。「いただきます」を一緒に



昼休みは運動場でサッカー



校門前でお見送り